

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ニオブ(キューブ), 4N
 会社名 : 関東化学株式会社
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課
 電話番号 : 0120-260-489
 F A X 番号 : (03)3241-1047
 メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp
 整理番号 : 28720

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
 自然発火性固体 : 区分外
 自己発熱性化学品 : 区分外

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 化学名又は一般名 : ニオブ
 成分及び含有量 : ニオブ 99.99%以上
 化学特性(示性式) : Nb
 官報公示整理番号 :
 化審法 : 適用外
 安衛法 : ー
 C A S N o . : 7440-03-1
 危険有害成分 : ニオブ

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
 皮膚に付着した場合 : 粉末状のニオブが付着した場合は、直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちにピンセットなどを用いて取り除く。
 飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和

: 飛散したものは拾い集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件

: 容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料

: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度

: 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 (2009年度版)

: 設定されていない

ACGIH (2009年度版)

: 設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具

: 必要に応じて防じんマスクを着用する

手の保護具

: 必要に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具

: 必要に応じてゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状

: 角状

色

: 銀灰色-灰色

臭い

: 無臭

沸点

: 2900℃

融点

: 1950℃

密度

: 8.55g/ml (20℃)

溶解性

溶媒に対する溶解性

: 水 ; 不溶

その他のデータ

: 塩酸、熱硝酸に溶け、ふっ酸に微溶。

10. 安定性及び反応性

安定性

: 通常条件で安定である。

反応性

: 200℃で塩素と反応し、塩化ニオブを生じる。

避けるべき条件

: ハロゲンとの接触

混触危険物質

: ハロゲン

11. 有害性情報

急性毒性

: 経口: データ不足のため分類できない。

経皮：データ不足のため分類できない。

吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない。

吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない。

経口摂取すると、悪心などを起こすことがある。

皮膚腐食性・刺激性：データ不足のため分類できない

眼に対する重篤な損傷・刺激性

：データ不足のため分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性

：呼吸器感作性：データ不足のため分類できない

皮膚感作性：データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない

発がん性：データ不足のため分類できない

生殖毒性：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

：データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

：水生毒性（急性）：データ不足のため分類できない

水生毒性（慢性）：データ不足のため分類できない

残留性／分解性

：元素のため微生物などによる分解性はない。

生態蓄積性

：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

：土中に埋立処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器

：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

適用法令なし

国連分類

：分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法

：非該当

毒物及び劇物取締法

：非該当

労働安全衛生法

：非該当

16. その他の情報

引用文献

化学大辞典 共立出版社（1963）

化学物質の危険・有害物便覧、厚生労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会 (2000-2001)

Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編
Van Nostrand Reinhold Company (1984)

危険物ハンドブック、ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラーク東京 (1991)

15710の化学商品、化学工業日報社 (2010)

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。

